

かたらい

第40号

平成29年
3月



早良区男女共同参画講演会

「一人ひとりが輝く“朝”を迎えるために」

平成29年2月25日(土) 早良市民センター 講師:大森 美香 さん (NHK連続テレビ小説「あさが来た」脚本家)

「大森美香さんの講演会に思うこと」

大森美香さん脚本の、NHK朝の連続ドラマ「あさが来た」は、幕末から明治、大正に生きた広岡浅子さんがモデルです。彼女は、家の商いの為、炭坑を買収し、生命保険会社を創り、日本初の女子大学を創ることに尽力しました。明治維新を経て新しい時代になったとはいえ、当時は「女大学」の教え「三従」＝「親に従い、夫に従い、子に従え」という考えが普通であった時代に、彼女はどのようにこんな活躍できたのでしょうか。それは、夫が妻を「理解」して、「任せる」力があつたからです。

この二人の人物像を今の時代に置き換えてみても、まだまだ現代社会でも理想の生き方のように思われます。人のやらないことに挑戦した勇気ある妻、妻を信じて任せてくれる夫。「女性を支える周りの人(男性)の存在があればこそ、女性は生き生きと輝くことが出来る」。自分にも何かやれそうな勇気と元気をもらった講演会でした。

松本 早苗(有田校区)

早良区男女共同参画をすすめる宣言

- ①地域で「男女共同参画について考える機会」を提供し、個々の意見を尊重・共有する。
- ②学びと気づきに努め、その成果は発信する。
- ③公民館や校区の各団体の皆さんとの連携に努める。
- ④自治協議会の一員として、「男女共同参画の視点」から、校区行事を盛り上げる。

男女共同参画社会とは?

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会です。

(福岡市男女共同参画を推進する条例 前文より)

男女共同参画をすすめる宣言から1年 早良区男女共同参画をすすめる会 会長 緒方 豊子

昨年3月発行の「かたらい」で「早良区男女共同参画をすすめる宣言(上記参照)」を行いました。

この4つの視点で情報や意見を交換していますが、未だに試行錯誤の繰り返しです。「男女共同参画」という「理念」を正しく伝え、理解いただき、そして地域活動として目に見える「実践」に移すことの難しさを実感しています。

それでも、校区を越えて知恵を出しあい、交流することで見えてくるものもあります。様々なアイデアを持ち寄り、共に考えることで連帯感が芽生え、新たな一歩を踏み出すことができると考えています。

29年度も、「小さくても確実な一歩」を大切に、校区では自治協議会の一員として、早良区では男女共同参画の推進という使命感で繋がり、コミュニケーションを大切に地域活動に貢献していきたいと思っています。



日本女性会議 2016 秋田 (平成 28 年 10 月 28 日～ 29 日) 参加報告



30回目の記念大会。紅葉が真っ盛り、風が冷たく冬の訪れが早い秋田県に多くの人が集いました。内閣府の基調報告をはじめ、分科会、交流会、シンポジウム等を通して、男女共同参画社会の実現に向けて課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流促進や情報ネットワーク化を図っています。

基調報告 (内閣府男女共同参画局長の武川 恵子 さん)

世界の男女共同参画の順位で日本は 144 カ国中 111 位。またランクを下げた。就業者数に対し管理的地位に占める女性の割合が少ない。変化を期待するのではなく積極的に改善していくとの話。私たちも地域で少しずつ変わろうと仲間と知恵を出し合っています。

記念講演 (ヘア・メイクアーティストの藤原 美智子 さん)

テレビ・映画で活躍する女性をメイクで支えた35年間。欠点を「その人らしさ」という魅力に変えてきた。「生き生きしていると周りが魅了される、違いこそが個性、自信が魅力を作る」ちがいを認める大切さのお話でした。

分科会 (“女性たちの今、そして未来をつくる” 上野 千鶴子 さん)

「女性参政権から 70 年、雇用機会均等法から 30 年経過した今も、女性の非正規雇用率は 7 割。社会の意思決定に女性の関わりが少ない。性別役割分業意識も変わらない。私たちがこの社会を少しでも変えていきましょう!」と力強く訴えられました。

男女共同参画を目ざす活動には苦勞もありますが“そのまますすめ!!まちがってないよ”と背中を押してもらった活気に満ちた2日間でした。各校区自治協議会からもぜひ参加してほしいと思います。

緒方 豊子(田村校区) 細川 勝子(飯倉校区)

レポート 長く校区委員を務めることの奨め 副会長 江藤 みどり (室見校区)

男女協の委員になって 12 年、早良区(すすめる会)の委員になって 10 年が経ちました。最初は何もわからず活動に参加するだけでした。早良区(すすめる会)の委員になって他校区との情報交換や様々な研修を重ねながら、ちょっとだけ自己啓発に目覚めました。人前に出ることが苦手な私が続けてこられたのはある研修会で聞いたこの言葉があつたからです。

「私でよければ頑張ります」

男女共同参画は地域社会の中で様々な活動に関わることです。これからも地域で男女共同参画をすすめ、種をまき続けたいと思います。



平成 28 年度委員紹介



百道浜 田中 洋子	小田部 前村 久美	田 隈 平 田 美紀子
西 新 曲 手 さよみ	飯倉中央 三國 千代子	田 村 緒 方 豊 子
百 道 矢 野 泰 子	飯 原 山 田 るみ子	野 芥 日 野 明 子
高 取 一 坊 寺 優 子	原 西 出 口 緑	四 箇 田 後 藤 ルリ子
室 見 江 藤 みどり	飯 倉 細 川 勝 子	入 部 藤 野 勝 美
原 松 永 真 喜 子	有 田 松 本 早 苗	脇 山 後 藤 富 士 恵
大 原 安 藤 洋 子	有 住 中 村 名 菜 代	内 野 曲 淵 早 崎 万 史 子
	賀 茂 金 澤 忍	早 良 熊 本 桂 子

校区活動紹介

★野芥★ (防災に関するワークショップ)

「家族を災害からまもるため」～防災は家庭からそして地域へ～

講師 佐藤 倫子 さん (ファシリテーター)

1979年、国連で女性差別撤廃条約が採択されて39年が経過。地域でも、未だに自治会長や町内会長の多くは男性という現状ですが、熊本地震を踏まえ、「災害が身近に起きた場合」について話し合いました。出席者を3人グループに分け、それぞれが避難所を運営するという設定で役割を決め、問題点を洗い出しましたが、食料・水・



物資の不足、子ども・高齢者のいる家族、ペットなど多くの課題が見えてきました。

誰かが我慢するしかない場合も多く、思いやりの心で、ていねいに話し合うことが必要だということになりました。日頃より町内や地域で多くの人と交流を持っていた方が心強いとも思いました。大変意義のある時間でした。

日野 明子 (野芥校区)



★西新★ (熊本地震から考える避難所づくり)

講師 藤井 宥紀子 さん (熊本市男女共同参画センター・はあもにい館長)

熊本地震における被災の様子や当時の体験、避難所運営のこと、そして何より一人ひとりの力が発揮できる地域づくりのお話などをうかがいました。

災害にいち早く立ち向かった地域では、日頃から女性リーダーの活躍が根づいていたこと。小さな子どもを抱えた家族が安心して過ごせた避難所の多くは、住民が自主的に運営していたことなど。被災の現場から、コミュニティの大切さについて多くの教訓を得ることができました。防災・減災のために、地域で、今何ができるかを考える良い機会となりました。今後も男女協として自主防災組織などとの連携を深めていきたいと感じています。



曲手 さよみ (西新校区)

★小田部★ (男女共同参画を考える機会を提供)

講師 安田 麻季代 さん (アミカスサポーター)

委員交代が多く、委員自身の理解を深めるとともに地域への啓発も行う必要がありました。

そこで、アミカスサポーター講師の力を借りて「すすめる宣言」の「地域で男女共同参画を「考える機会」を提供し個々の意見を尊重・共有」するワークショップに挑戦しました。

町内会長にもご参加いただき、気軽に・楽しく「男女共同参画と校区の理想像」について考えました。思いを披露し、共有することの重要性と楽しさを実感。何よりも面白かった！ワークショップは「やる」と腹を括ることが大切。ぜひチャレンジしてもらいたいです。



前村 久美 (小田部校区)

★原西★ (落語と意見交換と連携と情報発信～パネル展示～)

「まあるいサンカクのお話」～笑顔で話そう、みんなの男女共同参画～

講師 粗忽家 勘心 さん (内浜落語会) 伊藤 タカ子 さん (アミカスコーディネーター)

自治協・公民館と共催で気楽な雰囲気の中で落語を楽しみました。加えて男女共同参画について「学び、考える機会」として、落語の感想をネタに男女共同参画の視点から家庭や地域活動で気付いたことを語り合う試みにチャレンジしました。楽しみに加え、「気づきや共感」も持ち帰っていただきました。別の機会には、人権尊重推進協議会とも連携し校区人権のつどいでパネル展示を行いました。連携が何よりも大切ですね。



出口 緑 (原西校区)

ブロック研修会 区内を4ブロックに分け、研修会の企画・運営を行ないました。

Aブロック研修会

野芥・四箇田・入部・脇山・内野・曲淵・早良校区



「一人ひとりがいきいきと輝くために
すべての子どもたちの未来のために」

～セクシャルマイノリティって何～

講師：あなたの のぶ彗ちゃん こと三浦 暢久 さん
(九州レインボープライド代表)

「LGBTって何？」をはじめにLGBT当事者にとっての困難や取り巻く現状そして私たちはどう行動すべきかについて講演していただきました。

「性自認」～外見でなく心の性～ が基本にあり、多様性を認めあうことを教えていただきました。

体験談なども交えた講話に、「知ること」や「見えないことに気づき思いやること」の大切さを改めて考えることができ、有意義な研修となりました。

早崎 万史子 (内野校区)



Bブロック研修会

飯倉・有田・有住・賀茂・田隈・田村校区



「広げよう地域に！
男女共同参画の輪」
10月15日(土曜日)
賀茂公民館

講師：富永 桂子 さん (NPO 法人ジェンダー平等市民の会理事長)

法律や条例等を含め、男女共同参画の基本をわかりやすく教えていただきました。

震災の仮設住宅、小学1年生の黄色い帽子が統一されたことなど、身近な事例から「男女共同参画」とは、なぜ必要なのか？についてお話いただき、さらに地域の男女共同参画を広げる実践例を紹介されました。

また、男女共同参画社会の実現に向けた世界・日本そして福岡の動きや、女性子どもの貧困問題、女性議員の少なさ、防災・災害復興などは、男女共同参画の視点で喫緊に取り組むべき課題であることとその解決に向けたヒントとなるお話もありました。

「平時に出来ないことは非常時にはなおさらできない」という意識を持ち、身近なところから、性別を問わず、だれもが方針決定に参画できる地域を目指して、今後の地域活動に活かしていけたらと思います。

平田 美紀子 (田隈校区)



C・Dブロック合同研修会

Cブロック：大原 小田部 飯倉中央 飯原 原西校区

Dブロック：百道浜 百道 西新 高取 室見 原校区

「男性学の視点から考える男女共同参画」 12月9日(金曜日)早良市民センター

講師 田中 俊之 さん (武蔵大学社会学助教)

今回は「男性学」の研究者としてメディアでも活躍中の武蔵大学助教 田中俊之氏をお招きし、「男性学の視点から考える男女共同参画」と題してご講演いただきました。41歳の若い男性講師から男女共同参画についての講演はどんなお話が聞けるのかと少しわくわくした気持ちで参加しました。

「男は仕事、女は家庭」から「男も女も、仕事も家庭も」とお話しが始まり、男性問題(働きすぎ、自殺、過労死、地域や家庭での居場所等)のお話しは納得のいくものでした。

男性、女性ではなく、自分達で出来る仕事、家庭を守り子育てをしていく事、社会から差別を無くす事が大事だと思いました。

もっと早く若い時にこのようなお話が聞けたら良かったと思いました。

安藤 洋子 (大原校区)

